

2013.10.5

去る10月5日、松江市にて女子会 in 島根が開かれました。

記念すべき初めての地方会!?!です！

参加者は島根県の卒業生女医さん5名、

大学から牧野先生、男性陣として石川鎮清先生、針田先生、地域医療推進課の河原さんに来ていただきました。

まず準備段階では、すべてネット上でやりとりしました。

いまどきな流れです(笑)。

子供の学校プリントを冷蔵庫の前に貼ったつもりで、失くしてしまうことも多いため、今回、あてのメール、LINE(携帯電話のアプリのひとつ)でした。案内も返信も、結局一度もプリントアウトすることなく無事集合。

お話の内容は皆さんの自己紹介があり、ここで、栃木から西日本まで、先輩方、地域医療推進課の方々に来ていただけたことに感激！の意見があがりました。

地域で懸命に働きながら、気がつけば何年も大学とは無関係に過ぎていた、でも大学から来てくれた！すごくうれしかったです。やはり遠いってことは大変なことです。

その後、産休育休からの復帰について、みんなで知恵を出し作戦を考えました。

勤務の内容は少しペースダウンの時短勤務はどうか、あずける相手の探し方から子どもをあずける時の心構えに至るまで、細かく話しました。

育休中で赤ちゃんに向き合っていると、会話も少なくなります。育児は初めてで赤ちゃんは思うようにならず、仕事の面では同期と比べて焦るし、気持ちが煮詰まりやすいですね。

しかもへき地勤務だと、周りに相談できる相手がいないこともあるかもしれません。夫はたいてい忙しいし、ママ友も、子供が小さいうちはそんなにまだ親しくなれなかったりして。

自分のそんなころを思い出しながらのひと、これからの参考にしようかなというひと、男性の意見もあり、和気あいあいと楽しいひと時でした。

このような小規模お茶会形式や昼食会だと、女子が子連れでも参加しやすいなと実感しました。

今回全国国保学会の開催に合わせて行いました。内科の地方会とか、色んな会合に合わせての開催だと、出やすいこともあると思います。

栃木からそして離島や西部からの参加は大変だったと思いますが、皆様本当にありがとうございました。これからもちょこちょこいろんな場所で、開催していただきたいと思います。

(実は続きがあります！)

今度は大学での女子会 in 栃木しかもユースです！を構想中です。)

白石裕子 (島根 17 期)